立命館大学グローバル教養学部 人材育成目的・教育目標・三つのポリシー

1. 人材育成目的

グローバル教養学部は、人文学、社会科学、科学技術の諸分野を包含したリベラル・アーツ 教育を通じて、グローバル社会の諸問題についての幅広い知識を身につけ、問題発見・解決 に実践的に貢献できる人材を育成することを目的とする。

2. 教育目標

● 知識・理解

・グローバル社会の諸問題について幅広い知識を身につけ、人文学、社会科学、科学技術の 諸分野の中から、自らの問題関心や進路に関わる学術分野への理解を深める。

● 思考・判断

- ・グローバル社会の諸問題を自ら発見し、複数の学術分野の学修を通して得られた研究方法 を用いて問題を分析し、解決に導く。
- ・社会の多様性と向き合い、批判的思考を通じて、自らの見解を形成する。

関心・意欲・態度

- ・グローバル社会の諸問題に、問題意識や知的関心をもち、主体的、実践的に解決する意欲 をもつ。
- ・多様な文化や価値観、立場の違いを互いに尊重し、協力する態度をもつ。

● 技能·表現

- ・批判的思考に裏付けされた論理的文章を英語で執筆する能力をもつ。
- ・グローバル社会の諸問題の発見とその分析に用いるリサーチスキルを身につける。
- ・相互理解につながる異文化コミュニケーションを英語で図る能力をもつ。

3. アドミッション・ポリシー

立命館大学グローバル教養学部では、以下のような学生を求めています。

- ・グローバル社会の諸問題を知的に論じられる英語力及び基礎学力を有する者(具体的英語要件は別途参照)
- ・グローバル社会の諸問題に高い関心をもち、多様な文化や価値観を尊重し、協力すること ができる者。
- ・知の技法を習得し、人文学、社会科学、科学技術の諸分野から自らの問題関心や進路に 関わる学術分野への理解を深めることを通して、グローバル社会の諸問題を主体的、実践

的に解決するグローバルリーダーを志す者。

4. カリキュラム・ポリシー (教育課程編成・実施方針)

グローバル教養学部では、人材育成目的と教育目標を実現するため、学生一人一人が自らの問題関心と進路に応じた個別の学習プログラムを設計できるカリキュラムを提供する。立命館で学修を始める学生については、初年次に全員が、いずれの学術分野にも共通して必要な「知の技法」を習得する。その上で、ANUで学修を始める学生も含めて、GLA生全員が、自ら選択した学術分野に関して体系的学びをすると同時に、リベラル・アーツのプログラムとして学生が自らの問題関心や進路に応じた自由な、なおかつ計画的な、科目選択も行う。最終学年では、学びの集大成として、グローバル社会の諸問題に関する問題発見、分析、解決へと導くためのリサーチセミナー(ゼミ)を実施する。また、グローバル社会の諸問題への主体的、実践的解決を目指し、社会における実践を重視した科目群も編成する。

個々の科目群の概要は以下の通りである。

·基礎科目群

初年次教育として、リベラル・アーツの学びを進め、グローバル社会で生きるために必要不可欠な「知の技法」の習得のため、学術的文章能力、批判的思考能力、リサーチ能力の基礎を身につける。

・導入科目群

さまざまな学問領域の導入科目。低回生時に履修することが推奨されるが、高回生時になってから興味が生じた学問領域も初級から学ぶことができるように、 I 年次から卒業時まで履修可能とする。

・特別講義群

他科目群では扱わない、人文学、社会科学、科学技術の諸分野に関連する特別なテーマを検討する。知識を広げ、批判的思考力を高め、リベラル・アーツ教育の学びを深める。 I 年次から卒業時まで履修可能とする。

·中級科目群

さまざまな学問領域の中級科目。2年次から卒業時まで履修可能とする。

・上級科目群

さまざまな学問領域の上級科目。ゼミに相当する必修科目。リベラル・アーツの学びの自由 度を確保するため、卒業論文は必修としないが、ゼミ内の課題を通してリベラル・アーツの 学びの集大成を行う。立命館で学修を始める学生は 4 回生で、ANU で学修を始める学生 は3回生(オーストラリア帰国前の | 年)で、履修可能とする。

·日本語科目群

日本語能力養成を行う。 | 年次から卒業時まで履修可能とする。

・その他群

「キャリア・デザイン」、「インターンシップ」、「リベラル・アーツ・エクスペリエンス」など、グローバル社会の諸問題への主体的、実践的解決を目指し、社会における実践を可能とする科目群。 I 年次から卒業時まで履修可能とする。

5. ディプロマ・ポリシー (学位授与方針)

グローバル教養学部は、その人材育成目的を達成するために、下記の通りの教育目標を定める。科目区分ごとの所定単位の修得と合計単位(124 単位)の修得を通じて学士課程における教育目標が達成されたものとし、学士(グローバル教養学)の学位を授与する。

以上